

みのり新聞

視覚障害者の福祉作業所設立を目指します！

新年のご挨拶



初春のお喜びを謹んで申し上げます。
旧年中は当NPO法人の活動にひとかたならぬご理解とご協力を賜りまして心より御礼申し上げます。
昨年は、当法人設立から2年目を迎え、様々な活動を行うことができました。障害に関係なくみんなで楽しむことのできるチャレンジド・ヨガ、視覚障害者の農業体験、全盲の竹内昌彦先生の講演会など、本年も継続して様々な活動を行っていききたいと思っています。
また昨年は、作業所開設のための大きな一歩を踏み出すことができました。

現在、国庫補助金申請中で、平成31年4月の開所を目指しています。

その作業所は、周りが農地に囲まれていることもあり、農業を中心とした仕事や、視覚障害者が得意な点字や音声の仕事をしていく予定です。

まだまだ開所まではたくさんやらなければいけないことがあります。賛助会員やボランティアの募集、寄付金のお願などもしておりますので、ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

皆様のご協力支援に感謝申し上げます、本年も皆様と手を携えて活動することをお約束し新年のごあいさつとさせていただきます。

平成30年 元旦

NPO法人みのり

代表理事 加藤木 貞児



活動報告

福祉体験授業

11月17日、上尾市立大谷中学校でアイマスクの体験授業を行いました。

前半はペアを組んでアイマスク体験。始めに、見えている人が丸や三角など色々な形を組み合わせた図形を言葉だけで説明し、アイマスクをしている人はいわれた言葉を頼りに形を触って探し出し、組み合わせるゲームをしました。

制限時間内に「どう説明すれば伝わるか」を一生懸命考えて説明する生徒さんたち。アイマスクをとって見本の図形と見比べると、まったく違う形もあれば完璧に組み立てた人もいました。きっと相手ペアの伝え方が上手かったのでしょう。素晴らしかったです。



後半は視覚障害者の生活の工夫についてお話ししました。視覚障害者でも携帯が使えるよ！ということを知ってもらったため、スタッフがアイマスクをして携帯操作を披露すると、皆さん興味を持ってくれたようで真剣に話を聞いてくれました。お金の選別やいろんな商品に点字や目印がついている話をしてあつという間に45分授業が終わりました。

最後に生徒さんから「見えなくても工夫すれば健常者と同じことができることを知りました」「今度困ってそうな人を見かけたら声をかけようと思います」など、嬉しい感想をいただきました。

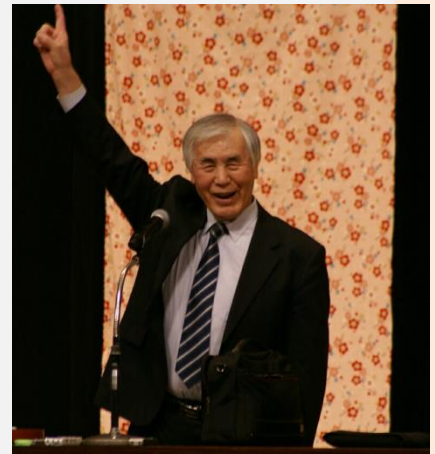


竹内昌彦先生講演会

平成29年11月26日(日)、上尾市文化センター中ホールにおいて、「バリアフリー講演会 全盲先生の命の授業 講師 竹内昌彦 〓私の歩んだ道 見えないから見えたもの〓」を開催いたしました。

講師の竹内昌彦先生は当法人のキックオフイベントで上映した「拝啓 竹内昌彦先生 見えないから見えたもの」のモデルとなった先生で、「いつか竹内先生ご本人の講演会を開催したい!」そんな私達の念願かなっての開催となりました。

オープニングは埼玉県立塙保己一学園OBによる「櫛バチ会」の力強い演奏で幕を開けました。素晴らしい太鼓の余韻が残る中での当法人代表理事加藤木からの挨拶の後、いよいよ竹内先生の講演会のスタートです。



お話の内容は視覚障害者について知ってほしい事、先生の壮絶な生い立ち、人生を通じて訴えたい事。そこには、障害者や、その親だけではなく、今生きている人々すべてにそれぞれのメッセージが込められていました。

聴くものをどんどん引き込んでいく先生の語り口に90分という時間があっという間に過ぎました。スタッフさえも仕事を忘れて先生のお話に聞き入って泣いたり笑ったりしたほどです。



当日皆様にご協力いただいたアンケートにはたくさん感動の声が寄せられました。一部をご紹介しますことができます。

★涙が止まりませんでした。障害のある息子を育てる勇氣をもらいました。

★健康でありながら不足不満の多い自分をはずかしく思います。周りで困っている方にやさしく手助けをしていきたい。

★先生のはっきりとした声で心を打つお話。こんなに心強く胸に打つ話、涙が出ました。大人にも子供達にも聞いてほしいと思いました。本当に有難うございました。

★ウィットに豊んだ、素敵な話しは健常者が、そして何よりも人間として何を行わなければならないかを示唆するものでした。

お忙しい中、岡山よりお越しいただき、たくさん感動と勇氣を私達に与えてくださった竹内先生、本当にありがとうございました。

ふれあい広場

10月15日、リニューアルオープンしたばかりの上尾市文化センターで「第37回上尾市ふれあい広場」が開催されました。「つなげよう 広げよう やさしい心」を知ることからはじめよう!」を合言葉に、さまざまなステージイベントや特設ブース、体験コーナーなどが来場者を迎えました。この催しは、障害がある人たちの様々な問題に取り組み、より多くの人たちの理解を得ながら、だれにとっても暮らしやすく、だれもが人間的な生活を送

ることが出来る社会をつくろうとする運動です。

今回私達は、視覚障害の方々も参加しやすくするために、スタンプラリーのスタンプを手で触ってもわかるシールとすること、景品をボールペンかお菓子が選べるようにすること、この2点を提案しました。少しの配慮で、他の参加者の方々と同じように楽しむことができました。



そしてNPO法人みりのりでは、「点字版 ふれあい広場チラシ」の作成と、アイマスクをして飲食をする体験型の「まっくらカフェ」を出店しました。「まっくらカフェ」は1回20分間で、視覚以外の感覚をフル稼働して様々なことを行ってもらいました。参加してくださった皆さん口々に、「見えないと味が何だかわからないね。でも面白い体験だったよ。」とのこと。視覚障害者理解を深める良いきっかけになったと思います。

来年も「まっくらカフェ」で皆様のお越しをお待ちしております。

収穫祭

平成29年11月12日(日)、6月に植えたサツマイモの収穫祭と親睦会をおこないました。

参加者は大人から子どもまで、障害のある人も無い人も総勢40名。

まずはサツマイモの収穫です。スコップを使う人、素手で掘る人、皆思い思いの方法でサツマイモを掘っていきます。大きなサツマイモが顔を出すと、歓声が上がります。見えない人には「触ってみる？」と、お互いを思いやる姿も見られました。もちろん掘ったお芋はお土産にお持ち帰ります。

その後はお待ちかねの親睦会。ふかし芋とみのり特製すいとんを食べながら話に花が咲きます。意気投合してお互いの連絡先を交換している方々もいました。嬉しいことです。

来年度は収穫だけでなく苗の植付けや草むしりなど、他の農作業体験会も企画したいと思っています。



「もっともっとと多くの方に農の楽しさを知ってもらいたい。」「視覚障害者の仕事の可能性を広げたい。」そんな思いでこれからも色々なことにチャレンジしていききたいと思えます！

チャレンジド・ヨガ

平成29年の4月から、毎月第2土曜日、上尾市にある日乗山秀善寺遍照院(寺院)の本堂をお借りしてスタートしたチャレンジド・ヨガ、8月のお盆期間だけお休みを頂きましたが、12月で8回目の開催となりました。

毎回、参加者や季節に合ったプログラムで、障害者指導経験の豊富なインストラクターが、わかりやすい言葉でゆっくりと、時には一人ひとりに触れながら、ヨガのポーズを取れるように進行していきます。終わった後は、参加者全員が一体感を感じられる気がします。また、ヨガを通じて沢山の「繋がりに」もできました。なんと、ヨガの語源は「ユ」(ユージュ)繋がる」なのだそう。これからも、地域の方々が繋がれる場所になれば良いと思っています。

月に1度ですが、神聖なお寺の本堂で行うヨガで、身も心もリフレッシュしてみませんか!? 障害の有無に関わらず、どなたにも参加していただけますので、少しでも興味のある方は是非1度体験してみてください。



ご不明な点、ご質問などなんでもお気軽にお問い合わせください。

平成30年も毎月第2土曜日開催です。

1月は13日14時です。

★たくさんの方のご参加をお待ちしています！

今後の予定

★毎月第2土曜日

チャレンジド・ヨガ教室

★農作業体験などを企画予定です。

日程が決まりましたら、フェイスブックなどでお知らせいたします。



みらい基金

大東建託グループ みらい基金様より助成金を頂き、テント、耕運機購入、農福連携事業、チャレンジド・ヨガ、竹内昌彦先生講演会と幅広い活動を行うことができ、私たちNPO法人みのりの活動を地域の方々へ広めることができました。本当にありがとうございました。



進捗状況

NPO法人設立時より準備を進めてきた、国庫補助金の申請を昨年7月に行うことができました。

現在、県の審査を通過し、国に書類を再提出したところです。国庫補助金が採択されると、平成31年4月に開所することができそうです。

ゆめコーナー

10月8日(土)に埼玉県障害者交流センターで行われた埼玉障害者まつりにてポチ袋等の販売を行いました。



みのりの夢

みのりの夢とは、NPO法人みのりの前身で、埼玉一学園(埼玉盲)に通う子どもたちの保護者が、卒業後の進路を考えて集まった任意の団体です。

みのり役員紹介



代表理事

加藤木貢児

「ただ生きる」
なにか自分にできることは
と考えながらただ生きてい
るうちに、みのりの活動に
関わっていました。
みんなが自分らしく生きて
いけるような活動や、作業所
を作っていきたいです。うち
は、猫が1匹増えて妻と3匹
の猫との暮らしです。



副理事

岡田純子

「願えば夢は叶う」
「卒業後の子ども達の居
場所をつくりたい！」願
い続けて言いふらしていた
ら応援してくださる方が
沢山現れてもう途中で投
げ出すことができなくな
りました(笑)
もう実現するまで進むの
みです！



理事

小山亜紀

身の程をわきまえて、むや
みに不満を持たないこと
「足るを知る」を心がけて
います。
今年は、乗り物が大好きな
全盲の息子と一緒に、もっ
といるいるな所へ出掛けて
美味しいものを食べたい
です。



理事

遠藤早苗

「笑う門には福来る」
たくさん笑って免疫力ア
ップ！辛い時・苦しい時こ
そ無理やり笑って運氣も
アップ！
笑顔でいることで、自分
周りもみんなハッピーに
なるといいなー、と思っ
ています。



理事

鬼海詠子

『継続は力なり』
手先が不器用な息子は
何をやるのもとても大変
です。時間はとても掛かる
けど、こつこつと取り組む
ことにより色々なことが
出来るようになっていっ
てます。そんな息子を見て
感じた言葉です。



理事

高橋千枝子

まず、座右の銘ですか、...
【為せば成る 為さねば成
らぬ 何事も 成らぬは
人の 為さぬなりけり】
何事も自分に出来ること
は、出来るだけ頑張ります
！！



理事

神田雄一郎

「自分に厳しく！」
恩師の言葉です。
今でも時々思い出します。
果たして、自分に厳しく
出来ていただろうかと...

ぜんぜん出来てません！
再度、自戒を込めて、
「自分に厳しく...」
したいな。



理事

真田和代

埼玉一学園で小学部の
教員をしています。教え
子たちの進路先の実現に
向け、今年度より理事に
なりました。ボランティア
を増やすことや視覚障
害の理解、啓発に力を
発揮できればと思います。
趣味は和太鼓演奏、読
書です。2匹のネコたち
にいやされています。



監事

小山富栄

趣味は「百姓」「山」「自
転車」「ゴルフ」
信条は「行雲流水」
TOMMY っって呼んでね♡

今年もよろしくお願いたします！

賛助会員ご継続のお願い

賛助会員の皆さま、ご協力ありがとうございます。
今年度もご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

賛助会員 年間 3000円(一口)
会費、ご寄付は直接入金いただくか、入会申込書
をご記入のうえ現金書留でお送りください。

郵便為替

口座番号 00110-6-487029
口座名称 NPO法人みのり

現金書留

〒362-0066 上尾市大字領家423
NPO法人みのり

連絡先

〒362-0066 上尾市大字領家423番地
TEL・FAX 048-726-6905 (小山)
TEL 090-1838-4653 (岡田)
E-mail: minori310401@gmail.com
<https://www.facebook.com/ageominori/>